



大阪YMCA第16回チャリティーラン2010

支援金は3,469,815円

第16回大阪YMCAチャリティーラン大会実行委員長 塚 さとる 理



今年のチャリティーランも多くの方々の笑顔が一番印象的でした。大きなケガもなく、みんなが楽しめるチャリティーラン。そして、この笑顔がどんどん拡がっていき、来年にバトンをつなげたいと思います。最後になりましたが、チャリティーランの趣旨にご賛同いただき、大きなお力添えいただき、ありがとうございました。お礼の言葉に代えさせていただきます。ありがとうございました。

うかとの不安な船出でした。また、開催場所の大阪城公園のコースが昨年とは変更になるかもしれないことも、大きな議論になりました。そんな大きな問題を抱える中で出発したチャリティーランも前日までには、多くの皆様のお力添えで形になり、当日を迎えることができました。当日は早朝より、企業の皆様やワイズメンズクラブ、YMCAの皆様が集まっていただき、設営から警備までスムーズに準備が運びました。そして、いよいよチャリティーランのスタート。順位制で懸命に走る走者への多くの方々の声援と共に、堺市立青少年センターのかわいいチャリデーニングも加わり、一層応援も盛り上がりしました。また、宣言タイム制、オープン制では、例年に負けず劣らず、各チームが思考を重ねてつくりあげたコスチュームが並びました。本年は各チームのコスチュームPRタイムをつくる工夫をしました。各チームが工夫をし、すべての審査員が各チームに賞を贈りたいとの気持ちで、表彰チームの選考には大変苦慮しました。



皆様からの支援金が塚実行委員長から末岡総主事に手渡されました。

心配された前日の雨もあがり、2010年11月23日(火・祝)第16回大阪YMCAチャリティーラン2010が大阪城公園で実施されました。昨年と同様に今年も景気が回復していない中で、チャリティーランに賛同いただける企業様、皆様が多岐にわたるご支援をいただきました。

チーム「ジャックと仲間達」



三菱商事5チームのメンバー

三菱商事株式会社からは、5チームが参加しました。その中の一つ「ジャックと仲間達」は、チーム登録申請期限ギリギリで社内の人ナリー志向者を集めて急遽結成したチームということで、「カーポローディング」(栄養摂取)を兼ねたパスタランチによる決起会を行うなど、結束を固める努力をして本番を迎えました。

ジャックこと渡邊雅夫さんは、「普段やっている『競争』ではなく、『協走』をテーマに掲げてチームワークで頑張りたい」と意気込みを語っていましたが、終了後の渡邊さんはメンバーが温かく取り囲む和気藹々とした雰囲気からは、みんな一つ一つのタスキを繋いでゴールを目指す「協走」をしつかり果たせた様子でした。大会終了後、チームメンバー全員で「ビールローディング」ならぬ慰労会を行って、早速、来年に向けての取り組みを語り合うとのことでした。(安積郁代・三菱商事株式会社)

チーム「North Faces」

一昨年と昨年はコスチューム賞をとるために出場しましたが、今年は新しい挑戦をするために、順位制に出場しました。北部地域のYMCAの合同チームである「North Faces」は優勝を目指し、走者は走り込みを繰り返して、実行委員は応援グッズを作ったりと、全員が同じ目標に向かって全力で取り組みました。走者一人ひとりの想いを書いたはちまきや、みんなの応援メッセージが書かれた横断幕、そして何よりも会場に駆けつけた、仲間からのたくさんの声援は走者をとて元気づけました。応援していた私たちも、最後まで諦めずに走り切ろうとする姿を見て、皆さんの勇気や感動をもらいました。結果は4位でしたが、今回のように、一丸となって物事を成し遂げる素晴らしさを、来年のチャリティーランにも引き継いでいきたいと思えます。



(河野千尋・北YMCAユースボランティアリーダー)

チーム「RCO」



ザ・リッツ・カールトン大阪からは社名の頭文字をとったチーム「RCO」が順位制レースに出場しました。戸北達之さんと息子の涼馬君は親子での出場を果たし、達之さんから涼馬君にたすきが渡されました。精一杯手を伸ばしてたすきを受け取ろうとする涼馬君の姿がとても印象的だったとチームメイトの方々は話してくださいました。

順位制で最年少9歳での出場となった涼馬君が力強い走りでもコースを走り切り、次のランナーにたすきを渡した場面では沿道から一層大きな声援が送られていました。「思っていたより距離が長くてとても疲れた。でも最後まで走り切れて良かった」と安堵の表情で語ってくれた涼馬君からは充実感が感じられました。

また、ザ・リッツ・カールトン大阪の方々はランナーとしての参加だけでなく、運営ボランティアとしてスタート地点でのランナーの招集作業にも携わっていただきました。レースにも運営にもご活躍いただいたザ・リッツ・カールトン大阪の皆様はチャリティーランに活気を与えてくださいました。(長谷川雄大・統括本部スタッフ)



スタート地点での招集作業

高槻YMCAけやき体操チーム

高槻YMCAけやき教室(知的障がいのある子どもたちの体育クラス)は例年、自分たちで集めた参加費と高槻ワイズメンズクラブの支援の下、出場しています。

そして子どもたちはチャリティーランの支援を受けて、体育クラスや海洋キャンプなどのプログラムを実施しています。支援されるだけの活動ではなく、支援してくださる皆様との交流やマラソン大会で共に汗を流す活動は、子どもたちや保護者の方々にもとても喜ばれていきます。何よりも大勢の方々からの声援を受けて緊張しながら走る中で「頑張った」と感じるゴールの瞬間は、子どもたちだけでなく、伴



走しているリーダー、声援を送る保護者にとっても、大きな喜びをもたらす瞬間でもあります。今年は、コースの半周分を小学校低学年が走り、1周分を高学年から中高生以上が走る形でたすきを繋ぎました。まだ走り足りないメンバーもいるくらい元気いっぱい走り切ることができました。また体育クラスでは、チャリティーランに向けて、走る練習にもたくさん取り組みたいと思えます。

(小西雄希・高槻YMCAスタッフ)

大阪YMCA第16回チャリティーラン2010成績表

順位制 (16チーム)

Table with 3 columns: Rank, Team Name, Goal Time. Lists 16 teams and their respective times.

宣言タイム制 (30チーム)

Table with 3 columns: Rank, Team Name, Time Difference. Lists 30 teams and their time differences.

オープン制 (7チーム)

- List of 7 teams: The North Family, 高槻YMCA, ゲゲゲ大疾走, エンジェル水泳, シャークエナジー, バトン the 堺!, 走りたのさんホーム.

コスチューム賞 徳Y連 SKY49



「SKY49」・「バトン the 堺！」

堺YMCAでは、宣言タイム制に「SKY49」を、オープン制に「バトン the 堺！」の2チームをエントリーしました。

当日は、宣言タイム制で人気のAKB48をもじって「SKY49」として、女性はもちろん、男性も女子学制服を身にまとい元気に走りました。

「SKY! SKY!」と、チャリティーランに参加している姿を見てくださった、たくさんの方々から温かい応援をいただくことができました。

堺YMCAに集う人々には、どんなことにも全力で取り組む頼れる仲間がいつも身近にいて、支えてくれる、つながっていてくれる、そんな安心感があります。

チャリティーランを終えて、私自身、堺YMCAの良さを改めて感じ、仲間と一緒にひとつのことをやりとげる楽しさを感じました。

(田中夏紀・堺YMCAユースボランティアルーダー)



SKY49 コスチューム賞を獲得!



会場設営、受付、沿道警備など多くの方々にボランティアで協力いただきました。



2009年度

支援金使途プログラム報告

- List of 2009 support fund usage programs including: 知的障がい児水泳教室, 知的障がい児支援活動プログラム, 知的障がい児体育プログラム, etc.

2009年度はチャリティーラン支援金で、次のようなプログラムを行うことができました。

- ▼ オフィシャルスポンサー 三菱商事株式会社
▼ 参加&支援 企業・団体・個人 (株) アイティ・フロンティア, (株) アイティ・フロンティア, (財) 奈良YMCA, etc.

- 大阪YMCA学院日本語学科/大阪YMCA国際専門学校, 表現・コミュニケーション学科/大阪YMCAランゲージセンター, etc.